



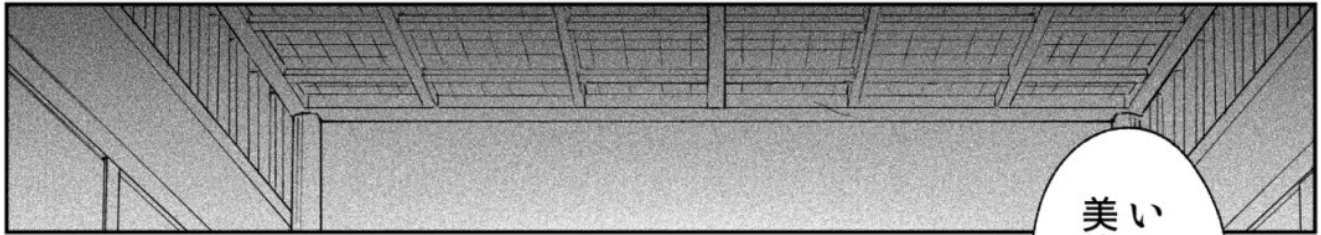
催眠さいみん遊蕩ゆうとう

生真面目巫女は
狡猾妖狐に
墮とされる

催眠遊蕩

生真面目巫女は
狡猾妖狐に墮とされる

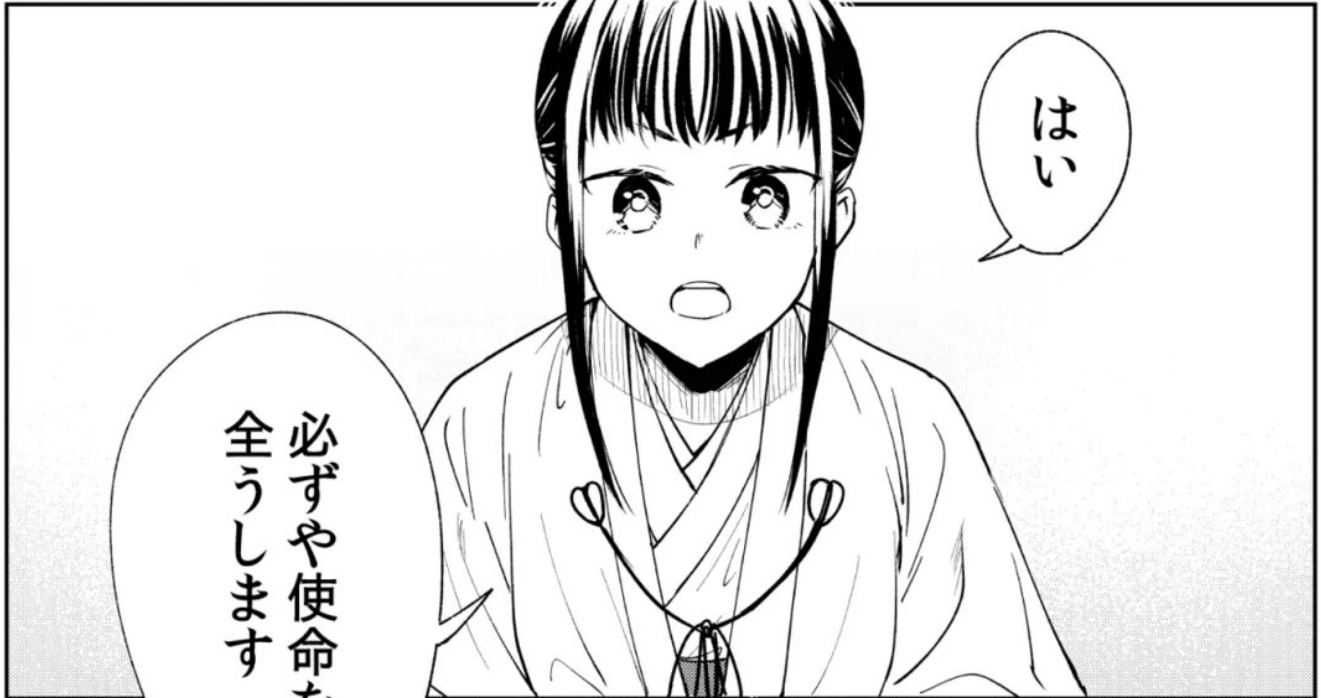




美津日
いいですか



草薙くさなぎの巫女として
妖を退治し
人を助けるのが
あなたの使命です



はい

必ずや使命を
全うします

この山で
妖が
暴れていると

はい

先月から
山道を通る者が
襲われて
困っております

巫女さま
お一人で
大丈夫ですか？

分かりました
退治して
まいります

安心して
ください

私は草薙くさなぎの巫女
ですから

クサナギ
つちゆうと
都の社に
仕えてる

あの？

こんな都から
離れた場所に
すごいお人が
来てくれたね



しるるる

雨か

視界が悪い

村の人の話だと
山道のすぐそばに
夕方から出るって
言ってたけど…



人の悲鳴!

はっ



か細いけど
たしかに
聞こえた

ししし

ししし

いた!

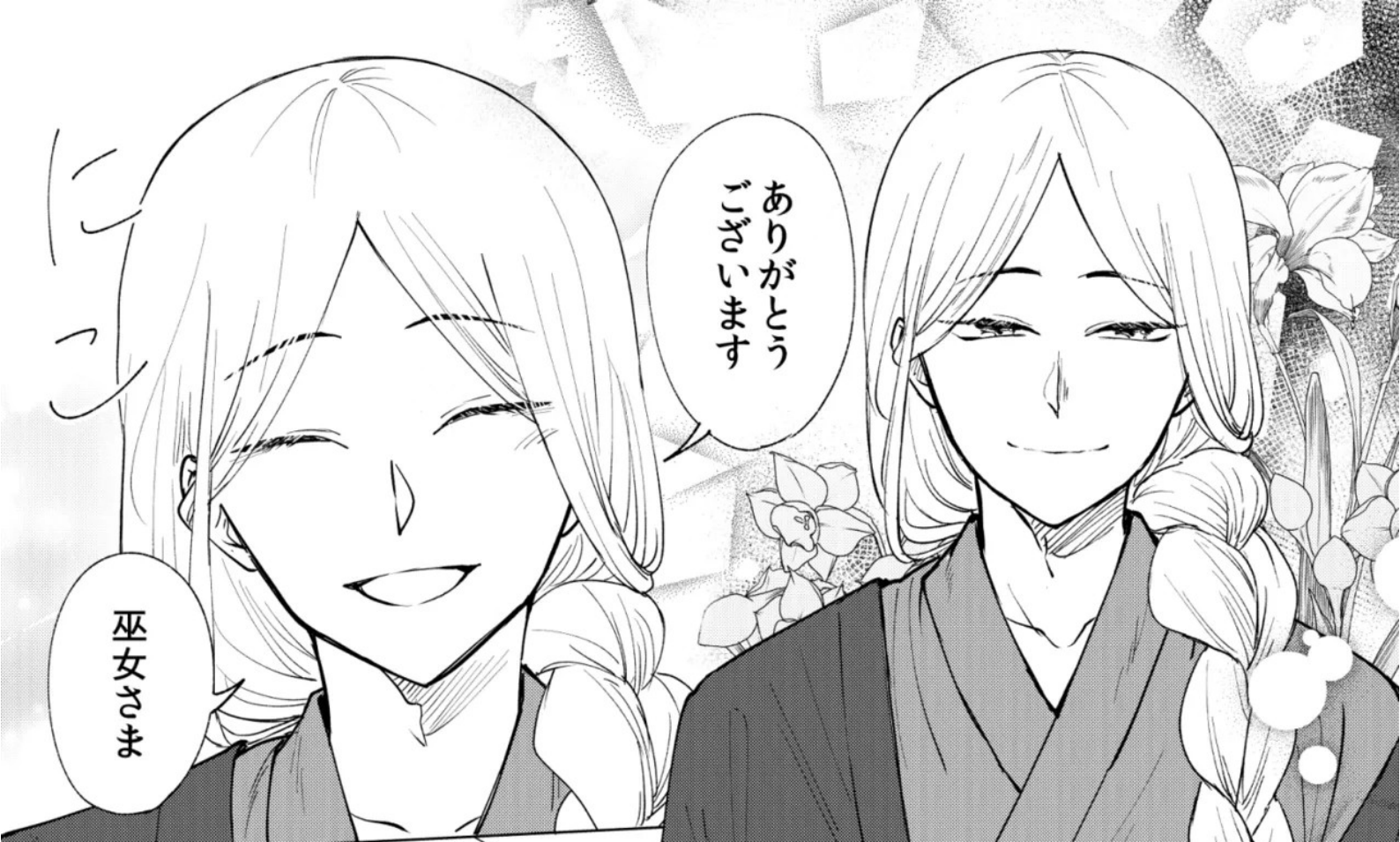
この先…

助けなきゃ!

伏せて!







巫女さま

ありがとうございます



あ
ハイ



助けていただいた
お礼がしたいので

ぜひ我が家へ
おいでください

お香の
におい?

びっくりした
綺麗な女の人かと
思っただら
男の人だ

夕の夕



まだ名乗って
いませんでしたね

しゅうう
宵雨と
申します

先ほどは
助けていただき
ありがとうございます
ございました

私は美津日
といいます

民を守るのは
草薙の巫女として
当然のことです

!

美津日様は
草薙の方
なのですね

ご存知
ですか？

はい

もちろんです

妖を退ける力を
はるか昔、ある巫女が
神から授かった

巫女の血を継ぐ
一族たちは代々
妖を退治し
人々を守る使命を
生まれた時から
負っている

その中でも草薙は
都の社にて
妖が都に入れぬよう

守護の結界を
任されている
特別な一族
と聞いております

そんな立派な
御方とは知らず

こんなあばら家
にお呼びしてしまい
申し訳ありません

あせ
あせ

いえ、
そんな…っ

顔を
上げてください



私は：
一族の中でも
力が弱い
未熟者です

守護の勤めが
できないから
外の妖を退治して

辛うじて
巫女の使命を
果たしているに
すぎません



でも私を助けて
くださったのは
美津日様ですよ



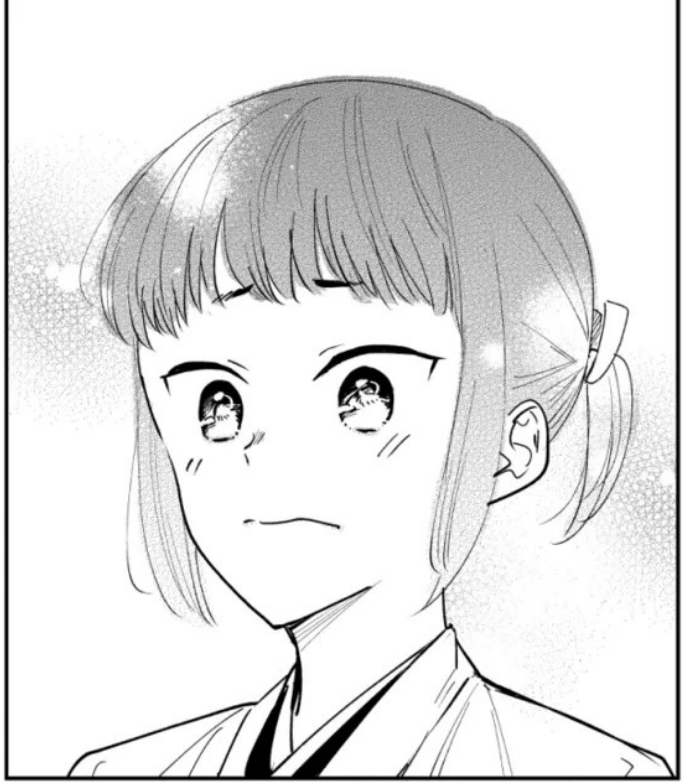
本当にすごいのは
妹や両親など
都の守護を
任される方々で…

私なんか…



あなたは
素晴らしい
方です

そんなにご自身を
卑下なさらないで
下さい



宵雨さんの言葉は
すつと胸に届く

不思議な方だ









私の言うことを
何でも聞いて
下さい



はい

あれ？

私、何して
たんだけ？

あ、

ん

えっと！

そっだ

は、

あ

妖を退治して

それから！

あ、ん

あ、

宵雨さんの

家に――

はあ

あ、

んっ

んっ

しよ、しよっつ

さん？

おや

暗示
術が解けて
きましたか

さすが
草薙の血ですね

ですが



私は人を殺したり
血肉を食むのは
好きじゃないんです

おしゃべりしたり
こんな風に
可愛がれないと
つまらないですから



御覧の通り

あなたは、は

妖狐ですよ

巫女は勘が鋭く
術がかかりづらい
ため

香をかがせて
思考を鈍らせ
隙を作るのですが

昔会った
草薙の巫女は
私が仕向けた
大ムカデを
一撃で仕留め

術にもかからず
実に厄介でした

あなたは
たしかに巫女として
未熟のようですね

さつきから
ぼんやりして
うまくかんがえられ
ない

こえ
きこえてる
のに

私は

あの巫女と比べて
美津日様は

至極あつさり
かかって
くれましたよ



し、使命を
はたさ、ないと

使命？

巫女の

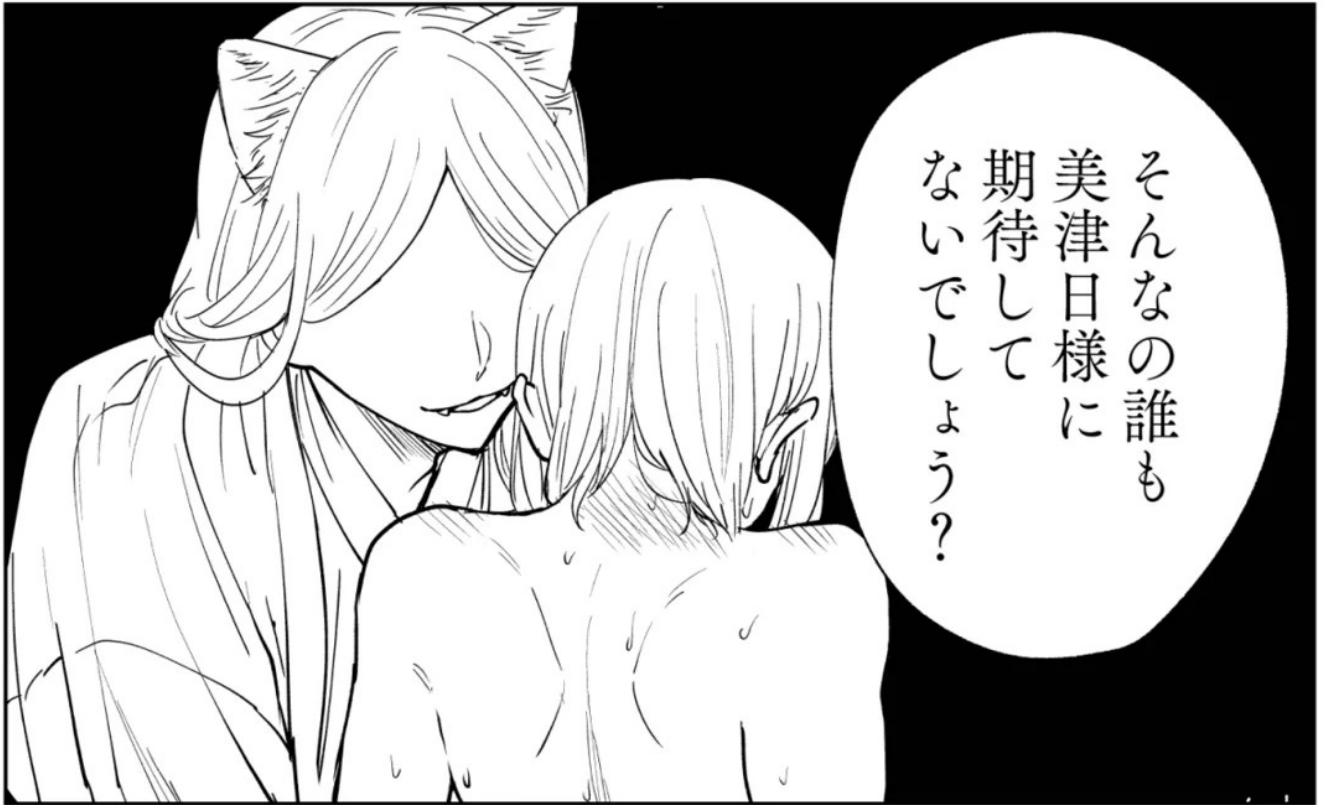
つとめ

妖を

たいじ、し

ひとびとを

たすけ、て



そんなの誰も
美津日様に
期待して
ないでしょう？



えっ？

私は昔から
草薙の一族が
どういう者たちか
存じております

能力が劣る
未熟者の雑事

彼らは
都の社への
勤めが
何よりの誉れ

地方を巡って
小物の妖を
追い払うなんて…

あなたは
一族から
見放されたん
ですね

かわいそう
可哀想な
美津日様

いいですか
美津日

草薙の巫女として
倦まず弛まず
使命に励みなさい

そうすれば
いずれ都に戻って
これるでしょう



はい

精一杯
務めます

でも

父さま
母さま

私、聞いてしまったんです



妹は百年に一人の逸材だというのに、姉の方はどうしてああも出来が悪いのか

都の社には美津帆だけ連れて行こう

美津日は地方の分家へ

いくら修練を積もうとあれ以上の力は望めまい

一族の恥さらしめ



私はそんな
美津日様こそ
好きですよ



いじめんなさい

とうちま

かあさま

ですが



数刻の間
ほぐしていた
甲斐あって

すんなり
入りましたね





草薙の靈氣を
味わうのは
久しぶりです

じっくり
楽しませて
ください



気持ちいい
でしょう？


美津日様

忘れられぬよう
身体にしつかりと
刻み付けて
あげますからね



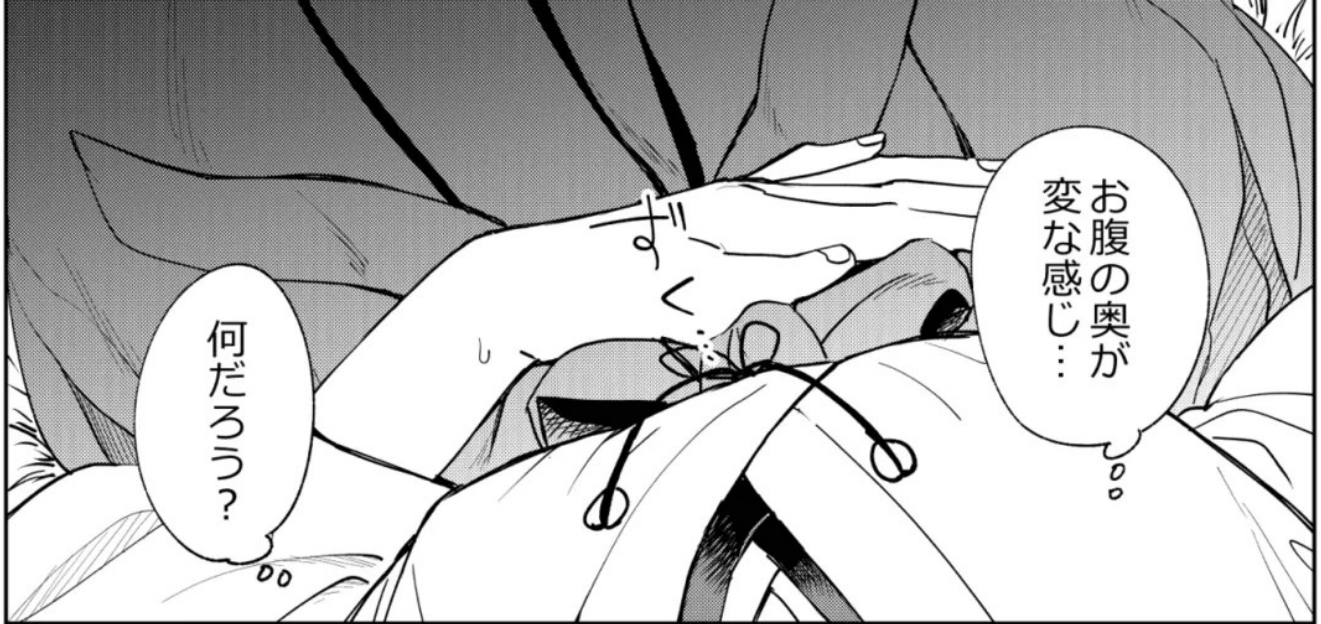
他の妖に
喰われなくて
幸いでした

巫女の靈氣は
妖にとって
最高のご馳走
ですから



何のために
がんばってるんや





お腹の奥が
変な感じ…

何だろう？



すみません

ご無事
でしたか

三日も
戻ってこなくて
心配しました



あ

巫女さま！

わ

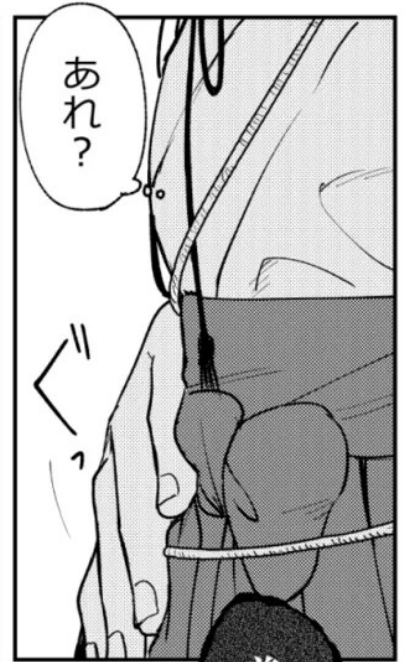


それで
大ムカデは退治
できましたか？

はい
もちろん…



何か
忘れて
いるよ
うな…



あれ？

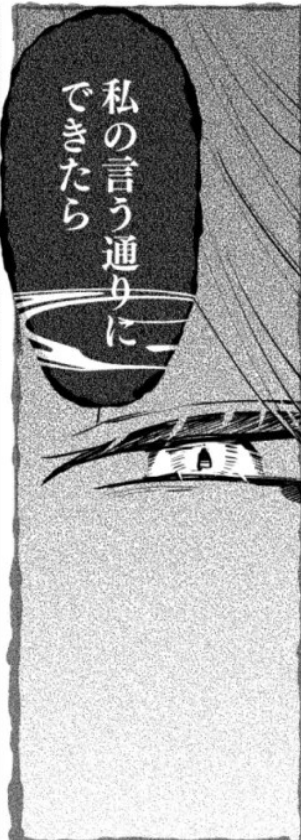


美津日様

よく聞い
て下さい



今後
も私
が
様
子
を
見
に
来
ま
す
の
で



私
の
言
う
通
り
に
で
き
た
ら



他
の
妖
が
潜
ん
で
い
な
い
か
探
っ
て
い
ま
し
た

し
ば
ら
く
は
山
の
奥
ま
で
入
ら
な
い
よ
う
お
願
い
し
ま
す



私の可愛い
美津日

報われない
使命など
忘れさせてあげる

ぢゃほ、

ぢゃほ、



催眠遊蕩^{さいみんゆうとう}

生真面目巫女は
狡猾妖狐に墮とされる

発行日 2025年6月1日

発行者 雨浅ひゆ(アメフってジカタまる)

mail usasahiyu@gmail.com

※本作品は成人向けです

18歳未満の方は購入・閲覧できません。

作品の本文(全てまたは一部)を無断で複製転写、

改変、公衆送信(SNS含む)することは禁止しています。

本作品はフィクションです。実在の人物や団体、事件
とは関係ありません。

また、実際の性行為とは異なります。





代々続く
草薙の巫女



その霊気は
他の人間の
比ではない



最初は面倒だと
思いましたが

こんな僥倖に
恵まれるなら
突然の来客も
悪くありません



す

る



足を開いて
座って下さい



ああ

手も足も
傷だらけですね

一人の旅は
さぞ辛かった
でしょう

途中で
辞めてしまえば
こんな目に
遭うことも
無かったでしょうに



ズワズワ

は

あ



ズン

このまま
入れてしまうのも
つまらないですし

そうですね

草薙の血ですから
そのうち術が
解けるはず…

その間ここを
じっくりほぐして
あげましょう

美津日様の場合
解けるまでにだいぶ
かかるでしょうが

安心してください

焦らずとも
時間はたっぷり
ありますから